

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成28年度)

施設名	宮崎港マリーナ施設 宮崎県サンビーチーツ葉
指定管理者	マリンパークス
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間)
県所管部課	県土整備部 港湾課

1 施設利用状況

指標	H28	H27	H26	増減理由等
年間利用者数(人)	277,200	283,300	241,400	目的広場における大型イベントの他、数多くのイベントを開催したが、利用者数及び海水浴期間のサンビーチーツ葉の利用者は天候等の影響により、若干前年度を下回っている。海水浴客については期間中の台風の影響により遊泳禁止日が多かったことから、利用者数が減っている。
海水浴期間のサンビーチーツ葉利用者数(人)	36,600	36,900	45,200	
コメント	休憩だけでも可能な無料休憩施設の提供や地域型イベント「春のーツ葉神話と花めぐり」の実施、「サイクリングツアー」の開催、新たな利用者の呼び込みとして「パークガイド」の発行を行い、また、自主事業として「サンマリーナ宮崎ビックフリーマーケット」の開催するなど利用者増の取り組みを行った。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

取入	H28	H27	H26	支出	H28	H27	H26
指定管理料	89,392	89,383	89,377	人件費	47,003	46,376	47,967
自主事業収入	16,610	27,565	24,455	需要費	8,456	9,490	10,568
				役務費	1,343	1,086	1,045
				委託料	16,191	15,728	15,029
				使用料等	7,575	7,820	6,104
				一般管理費	8,939	8,938	8,978
				自主事業支出	19,412	27,472	23,943
合計(①)	106,002	116,948	113,832	合計(②)	108,919	116,910	113,634
収支差額(①-②)	-2,917	38	198				
コメント	臨海公園の業務と阿波岐原森林公園の業務を効率的に行うためにパトロールと清掃を同時に行うことや大型機械化し人件費を抑えることに取り組むほか、施設の修繕を可能な範囲で直営で行うなど、経費の縮減に取り組んでいる。						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成28年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃(毎日実施)
	保守・点検	クレーン・クルーザーブル点検(年次点検:年4回、保守点検:毎日)、電気設備(毎月)、公園内遊具の点検
	警備	夜間常駐警備、夜間巡回警備実施(日3回)
	修繕	トイレ修繕、ビーチ管理棟・シャワー等修繕、照明施設修繕、空調機修繕、ステンレス柵更新等
	備品等管理	備品台帳の整備及び補修の実施
	安全対策	パトロールの実施(毎日)、航路水深検測、安全放送呼びかけの実施、マリーナ航路情報の周知、津波警報発令時における情報伝達及び避難訓練の実施
企画運営業務	サービス提供体制整備	施設の年中無休化・開園時間延長の継続、ホームページの更新、公園パンフレット(英訳版)の作成、マリーナ利用者への「利用者の手引き」の配布
	イベント等ソフト面充実	周辺施設や地元自治会と一体となった「春のーツ葉神話と花めぐりの実施」、マリーナ・ビーチにおける自主事業の実施(カヌーアスロン大会、サンマリーナ宮崎ビックフリーマーケット、デインギーヨット教室、サンドフラワーフェスタ、自然からの贈り物in北ビーチ、HOT Xmas in Beach等)の実施、大型イベント(水平線の花火と音楽7の実施、フリーダム)の開催
	施設設備等ハード面充実	無料休憩施設の通年営業、AED設置及び安全教育の実施、掲示板の設置(マリンセンター、北ビーチ、艇庫)及び気象情報、潮汐情報、航路状況)の提供
	その他	
管理運営体制	利用者へ安心で安全な公園が提供できるよう、全施設において的確な人員を配置した。	
コメント	上下架クレーンの操作・運行の適切な実施、津波避難訓練の実施、夜間常駐警備の充実、マリーナ航路情報の周知など維持管理業務に努めている。サービス面においても開園時間延長の継続や無料休憩施設の通年営業によるサービス提供を継続などを行なっている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(常設意見箱として公園ポストを設置、延べ120件)
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
マリーナ航路の航行禁止に関する問い合わせ	航路の安全性が確保できないことを説明
犬の糞やゴミ・たばこのポイ捨てが多い	注意書きの看板設置やパトロール時のゴミ拾いの強化で対応

5 総合評価

評価コメント	期間を通じて、天候の影響はあったものの過去最高を記録した昨年に近い利用者数となった。新たな利用者の呼び込みとして「パークガイド」の発行を行い、常に新しい情報やイベント案内等をホームページにアップし、情報発信を行うとともに、「自然からの贈り物in北ビーチ」、「HOT Xmas in Beach」などの新たな自主事業の実施・PRに努めたことが集客に繋がっている。また、ビーチにおける的確な人員配置を行い、未然に事故発生を防止したり、津波避難訓練、溺者救助訓練等の管理運営を行うなど利用者の安全確保に努めていることから、全般的に施設の管理運営は適切に行われている。
今後の課題と対応	マリンスポーツを中心とするマリーナやビーチのさらなるサービス向上等に努め、年間を通じた利用促進を図る必要がある。